

ぼうさい通信 Vol.87



毎月16日は「防災教育啓発の日」

令和7年5月16日発行
熊本県立湧心館高等学校

今月のテーマ 「5月は水防月間」

梅雨や台風を迎えるこれからは、大雨による洪水・浸水災害が発生しやすい時期になります。このため、国民一人ひとりが水防の意義及び重要性について理解を深められるよう、毎年5月（北海道は6月）は「水防月間」と定められています。気候変動の影響により激甚化・頻発化する自然災害に対し、各地域において訓練や巡視などの様々な取組が行われます。こうした水害から大切な生命を守るため、例えばハザードマップで自宅周辺の浸水想定区域を把握して避難経路や避難場所を確認したり、防災情報メールで災害情報や気象情報の入手方法を確認したりするなど、災害から身を守るための準備をして命を守るための意識を高めておきましょう。気象情報の入手方法や安全な避難方法を確認するとともに、非常時持ち出し品の準備や、ハザードマップを確認してマイ・タイムラインを作成するなど、日頃から災害への備えをしておきましょう。

■ 普段の心がけ

1. 天気予報や気象状況に気をつける。

梅雨時や台風シーズンなど、洪水が起こりやすい時期には、テレビ・ラジオ・新聞の天気予報に注意し、天気の移り変わりに気をつけましょう。大雨や洪水等の各注意報・警報は、テレビ・ラジオでも流れるため、見落とさないよう注意しましょう。



2. 非常食や持ち出す物などを準備しておく。

非常食には、調理の手間がかからず、水もあまり使用しないもの（レトルト食品や缶詰等）を選びましょう。飲料水も忘れずに確保しましょう。また、懐中電灯や携帯ラジオ、乾電池も忘れずに用意しておくこと。



3. 避難場所や避難経路を確認しておく。

地区ごと、緊急・災害時に避難する場所（学校、集会所）が定められています。自分の避難場所がどこなのかということ、そこへ安全に行くためには、どう行けばいいのかということを普段から確認しておきましょう。



4. 大雨や台風に備えて家のまわりを点検整備しておく。

家のまわりに吹き飛ばされそうなものはないか、雨戸や瓦、雨どいなどは痛んでいないかを確認しておきましょう。また、家の前の排水溝が詰まったりしていないかなどの確認も必要です。普段からの確認と整備が、被害を最小限に食い止める結果につながります。

（河川国道事務所HPより）

過去のぼうさい通信を見ることができます ◎ぼうさい通信（毎月16日発行）
本校HPにアクセスしてみよう。 <https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/>
くまもとマイタイムライン（デジタル版 マイタイムライン）は、
<https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/timeline/#/>で作成可能です。